





自己紹介

- 1998年** 東京大学農学部卒業
-
- 1999年** イギリス Cranfield Univ. 修士号取得
-
- 同年** NASA 植物工場のプロジェクトに参画
-
- 2000年** キヤノン株式会社 SOC検証部隊配属
-
- 2001年** 産業機械メーカーにて産業用ロボット研究開発
-
- 2009年** 株式会社エムスクエア・ラボ設立
-
- 2021年** 内閣府 男女共同参画 チャレンジャー賞受賞
- 現在** 株式会社エムスクエア・ラボ 代表取締役
やさいバス株式会社 代表取締役
静岡ガス株式会社 社外取締役



社会貢献

- R3年11月～
デジタル田園都市国家構想会議 委員
- H29年8月～R2年10月
静岡県教育委員会委員
- H29年7月～
食料・農業・農村政策審議委員
- H26年12月～H28年11月
中部圏広域地方計画有識者会議委員
- H27年1月～H28年12月
農業・食品産業技術総業研究機構評価委員

課題解決から事業創造へ



AgriTech



Mobile Mover
ロボット台車

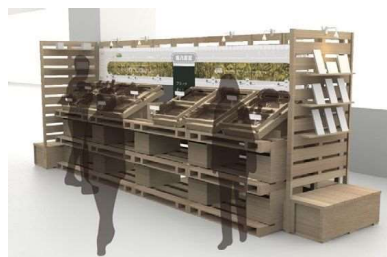


フードウォール
冷蔵庫不要

Design



UI/UX
Service Design



2D/3D Design

和泉市アグリセンター

ワンストップ相談所
コミュニティづくり

Supply Chain

やさいバス
Local OS



Education

ジュニアビレッジ
起業家育成



Farming

ニンジャトンネル
超低コスト&耐久



デジタル田園都市

?

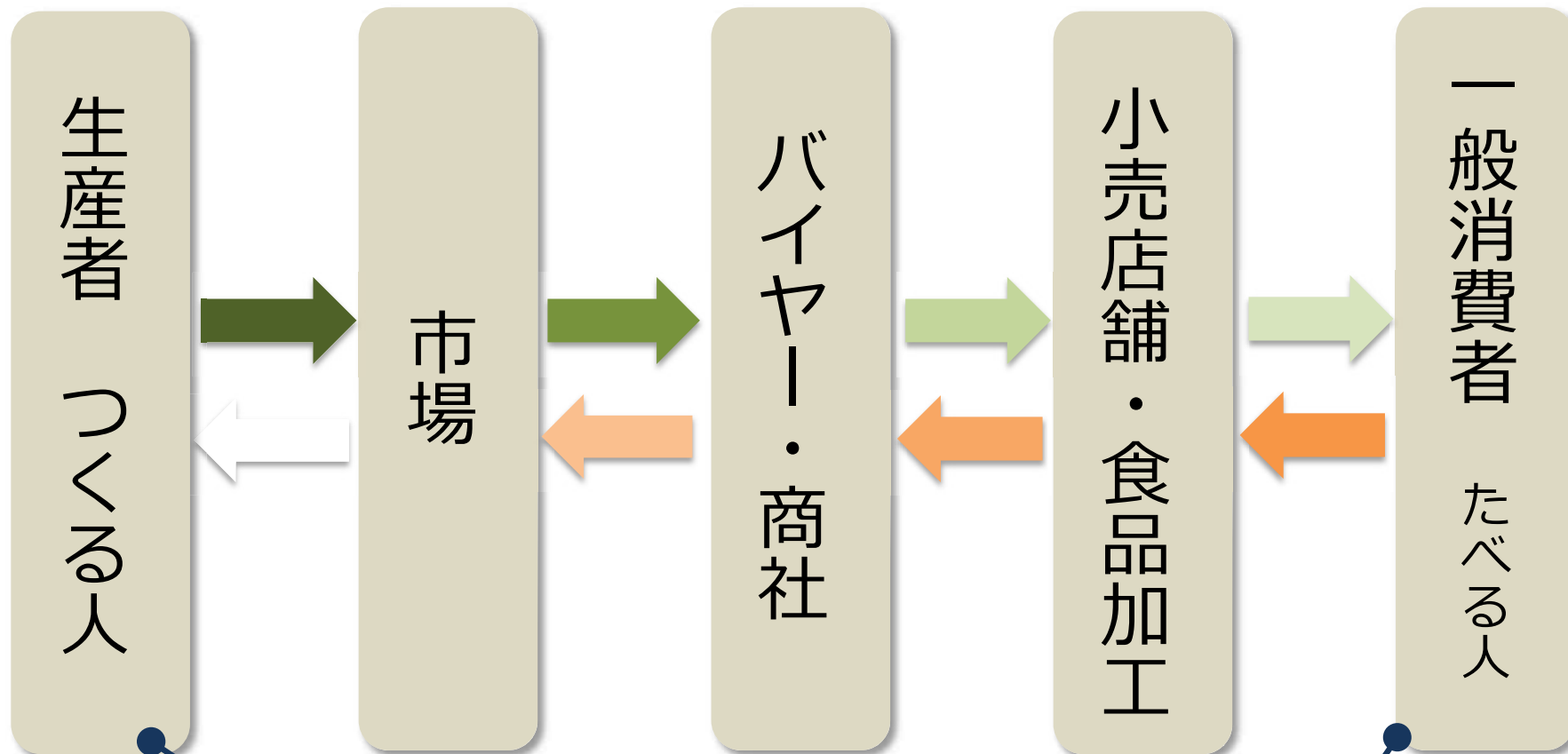
DX

?

農家がもうからない。

そもそも？

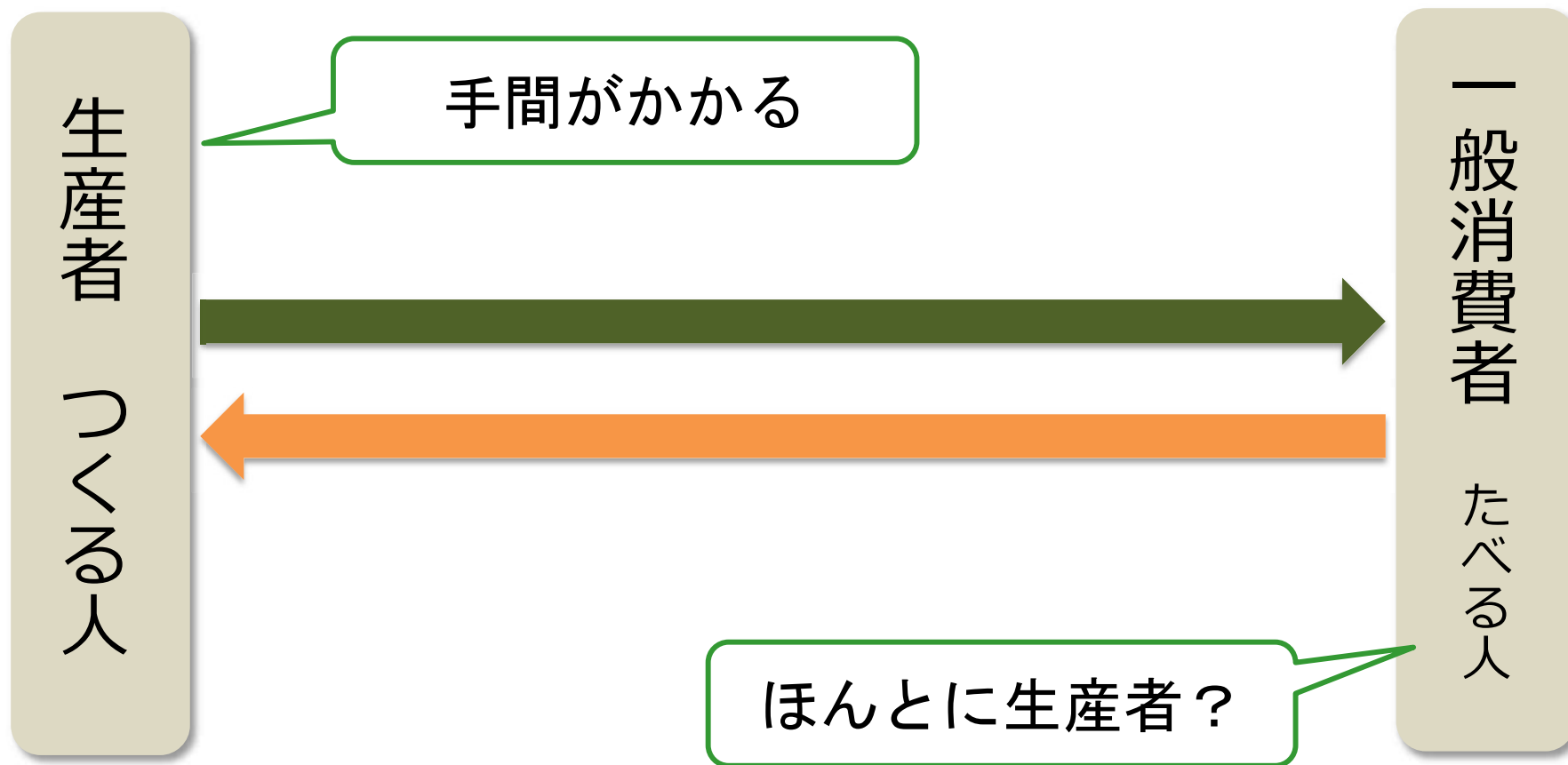
伝言ゲーム



機会の損失

安心・安全？

ECの流通経路



バリューサイクル

「おいしい」を共に創るチーム



つかう人



つくる人

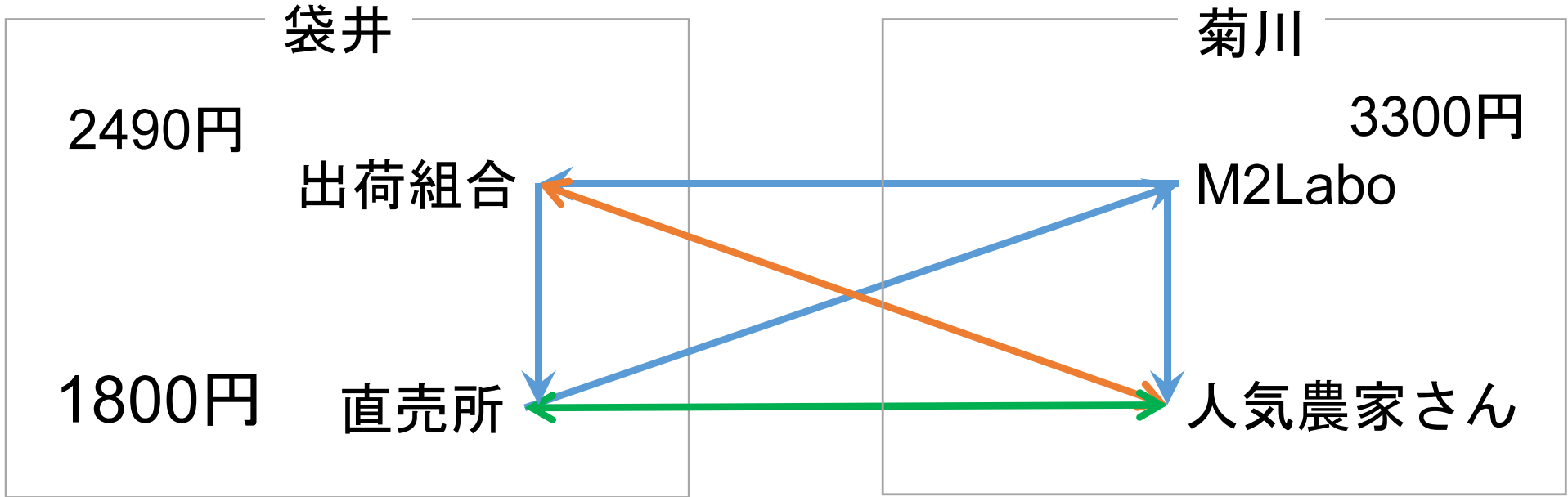
たべる人



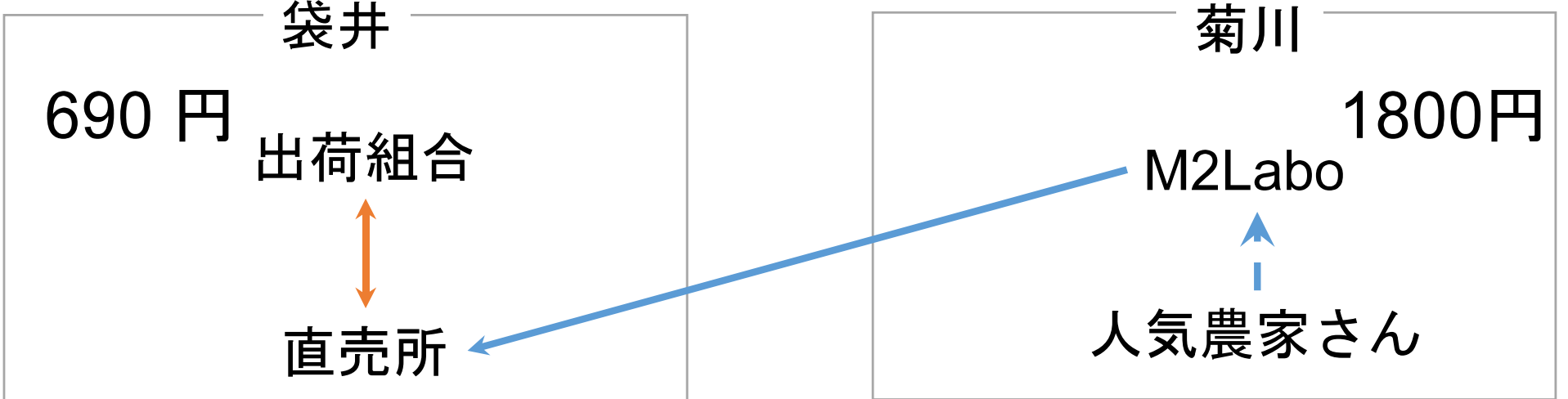
宅配の値段が高すぎる。

そもそも？

Before



After





やさいバス株式会社

誰もが“おいしい”食にアクセスできる社会を目指して

やさいバス 野菜でつながる「おいしい」物流サービス



生産者のメリット

- ✓ 販路が拡大する
- ✓ シェフのニーズがわかる
- ✓ 配送の手間が減る




受領者のメリット

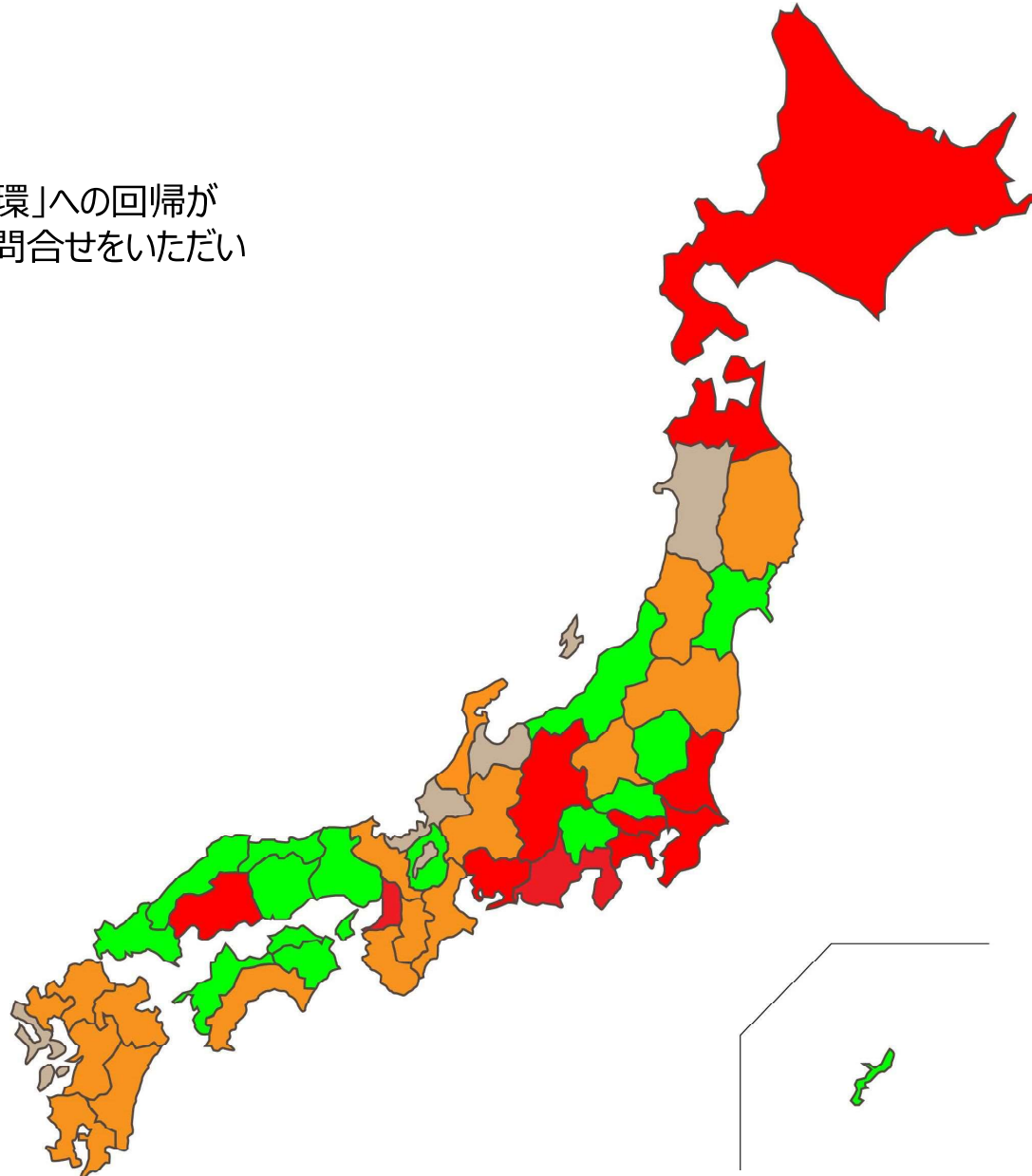
- ✓ 新鮮な野菜が届く
- ✓ 生産者から直接買える
- ✓ 仕入れコストが削減

EC + 共同配送を一体型としてシステムをコミュニティと共に地域実装していきます。合言葉は「無理なく」「美味しく」「楽しく」

やさいバス展開地域

コロナの影響で、「地域内循環」への回帰が進んでおり、全国各地よりお問合せをいただいています。

-  展開済エリア
-  立ち上げ準備中エリア
-  問い合わせありエリア



各エリアで小売店舗での展開が増加



リンクスベイタウン店



イオン鴨川店



BLNADE



そごう広島店



松坂屋静岡店



MUJIパルコ広島店

取引きから取り組みへ



BLANDE

バスの形の売場！

出荷者の野菜を総菜にして販売も。



そごう広島店

広電の本物のバス停標識が目印！
会話が深いお店です。



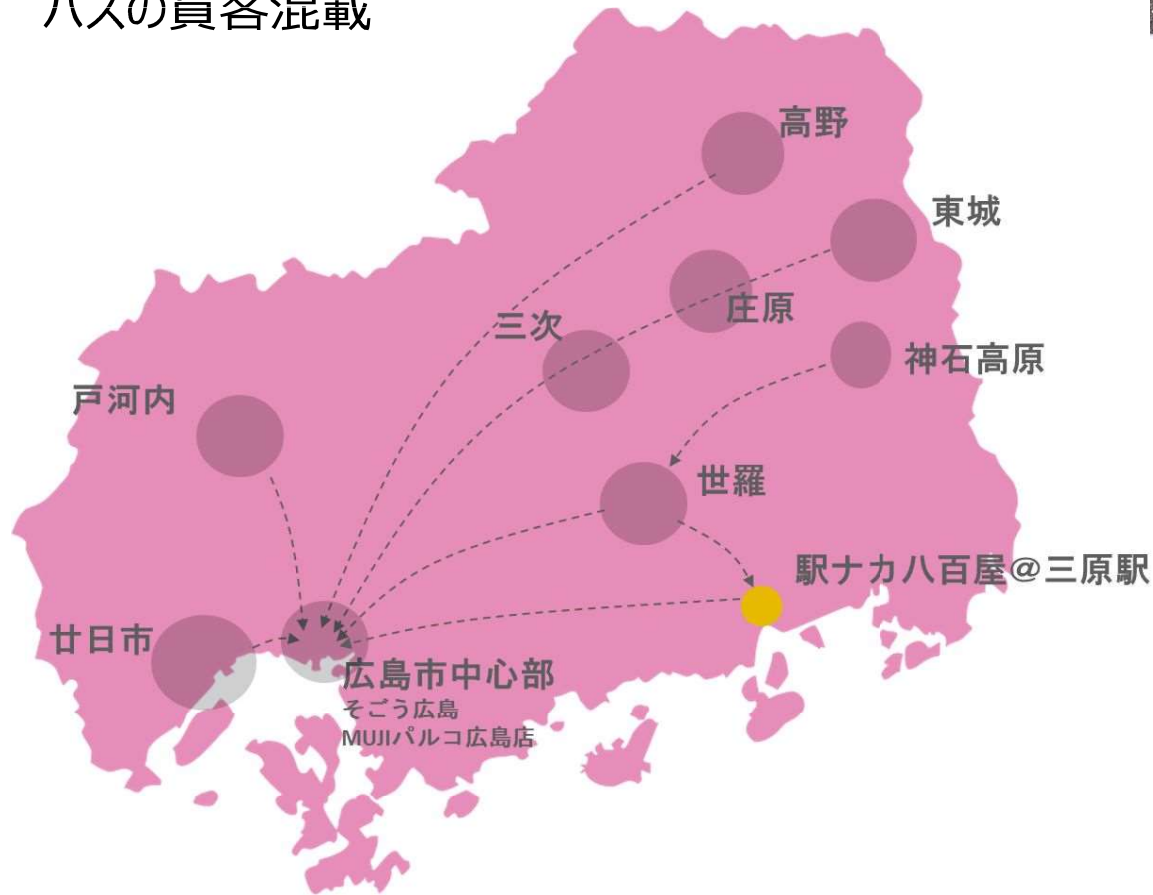
MUJIアルパーク

広島県内産のものだけ！有機も多い。
生産者のことを教えてくれる方が常駐。

やさいバス広島

地域の力で盛り上がる！

- ✓ 駅での無人八百屋
- ✓ バスの貨客混載



コロナ禍で『ご近所八百屋』誕生！

地域巡回バスだからできる、あちこち八百屋

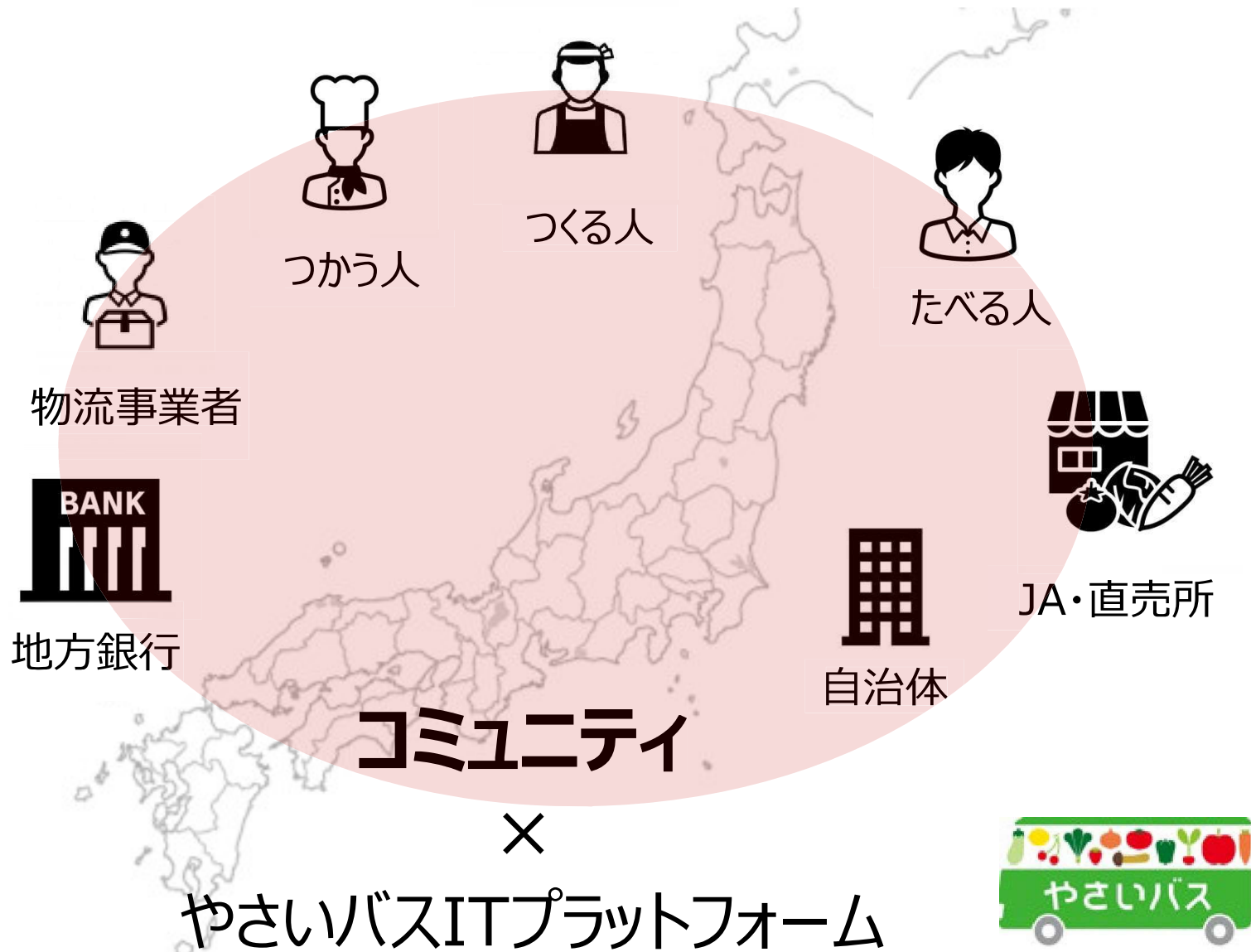


さかなバスも！

静岡の魚を海のない、山梨や長野へ



地域チームが自ら考え創りあげる ミライの地域プラットフォーム



受賞

日経クロストrendにて 未来の市場をつくる100社に選定！

特集 インノベーション

未来の市場をつくる100社 2022年版 第1回/全15回 (予定)

「未来の市場をつくる100社」大公開 次の30年を ひらく企業は？

2021年12月13日 読了時間：46分

松元 英樹 日経クロストrend 副編集長
勝俣 哲生 日経クロストrend 副編集長
森岡 大地 日経クロストrend 記者
福島 哉香 日経クロストrend 記者
安村 さくら 日本経済新聞 記者



イギリス D&AD Design Transformation部門 Graphite Pencile 受賞！

VEGI-BUS

Graphite Pencile / Design Transformation / Holistic Design Transformation / 2020

Shortlist / Design Transformation / Customer Experience Transformation

Local agricultural economies face a big challenge. In Japan, transporting vegetables can be costly and time consuming because the produce travels to consumers through centralised distribution networks. Hokuhodo Inc's solution was to build a new platform that lets vegetables be traded within the place of origin. Bus-sharing service VEGI-BUS was born, integrating eCommerce and SNS. The service directly unites farmers and consumers, boosting local communications and achieving a large reduction in traveling time and costs.

Country: Japan

Client: Veg'lous Inc.

Advertising Agency: Hokuhodo Inc.

User Interface & User Experience Design: Standard Inc.

Client Chief Executive Officer: Yuriko Kato

Strategic Planning Director: Hironori Iwasaki

Show More

審査員の大絶賛→



DX1：情報とモノを一致させて、くると価値を循環



瀬戸内レモン

100円 (税込)

35 km

のりば
やさいバス



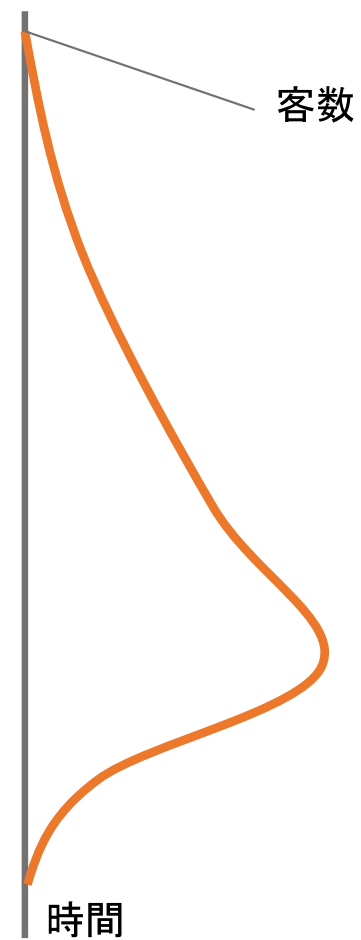
0 548255 150555



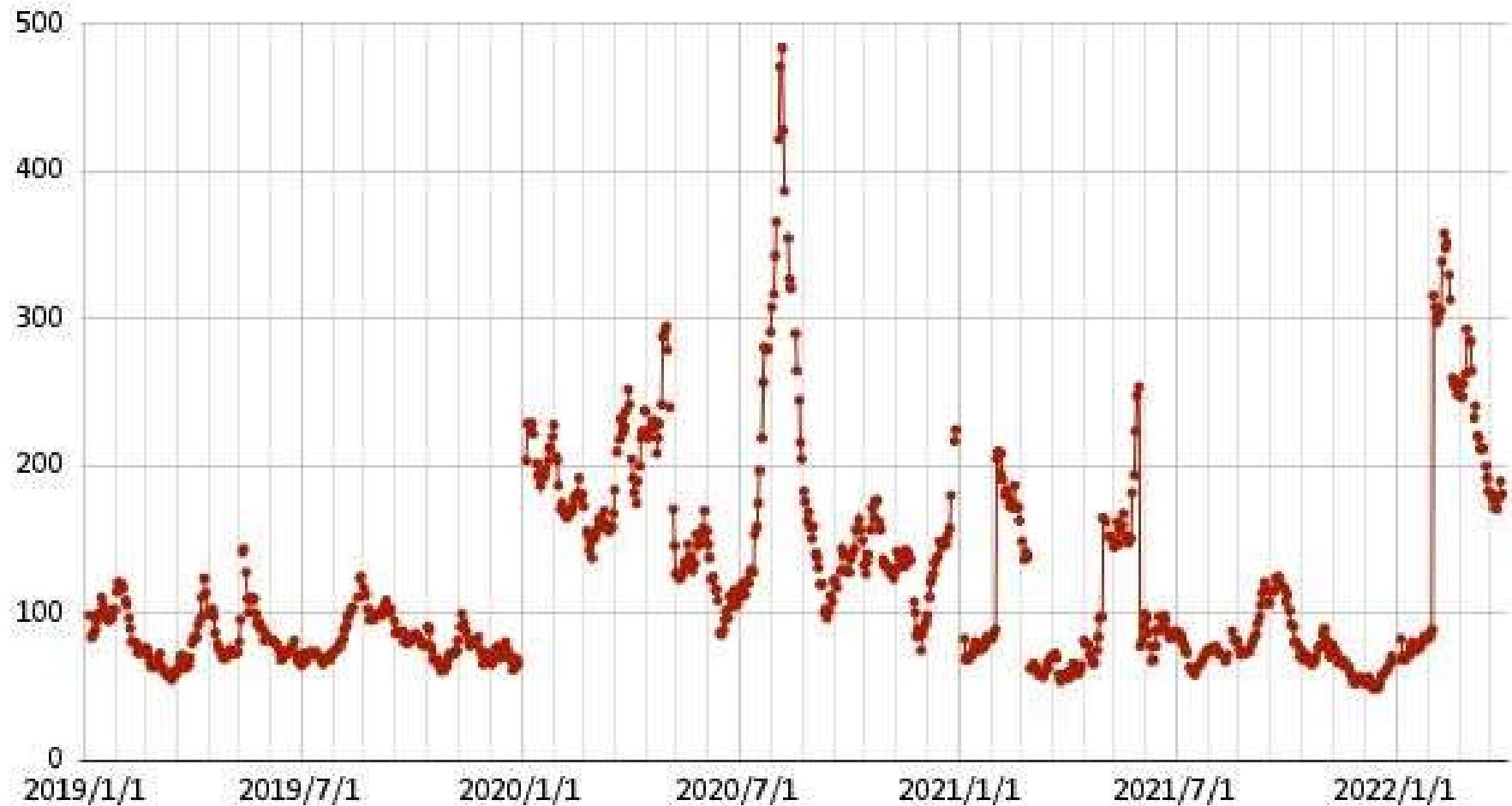
誰もが”美味しい”を手に入れられる社会を目指して

ラベルの「運搬距離」は、出荷者の最寄のバス停から、ここまでの距離を示しています。できる限り地域の、近くの生産者に出品いただくことで **CO2削減** に貢献していきます。

DX2 : 需給マッチングにチャレンジ、フードロス削減

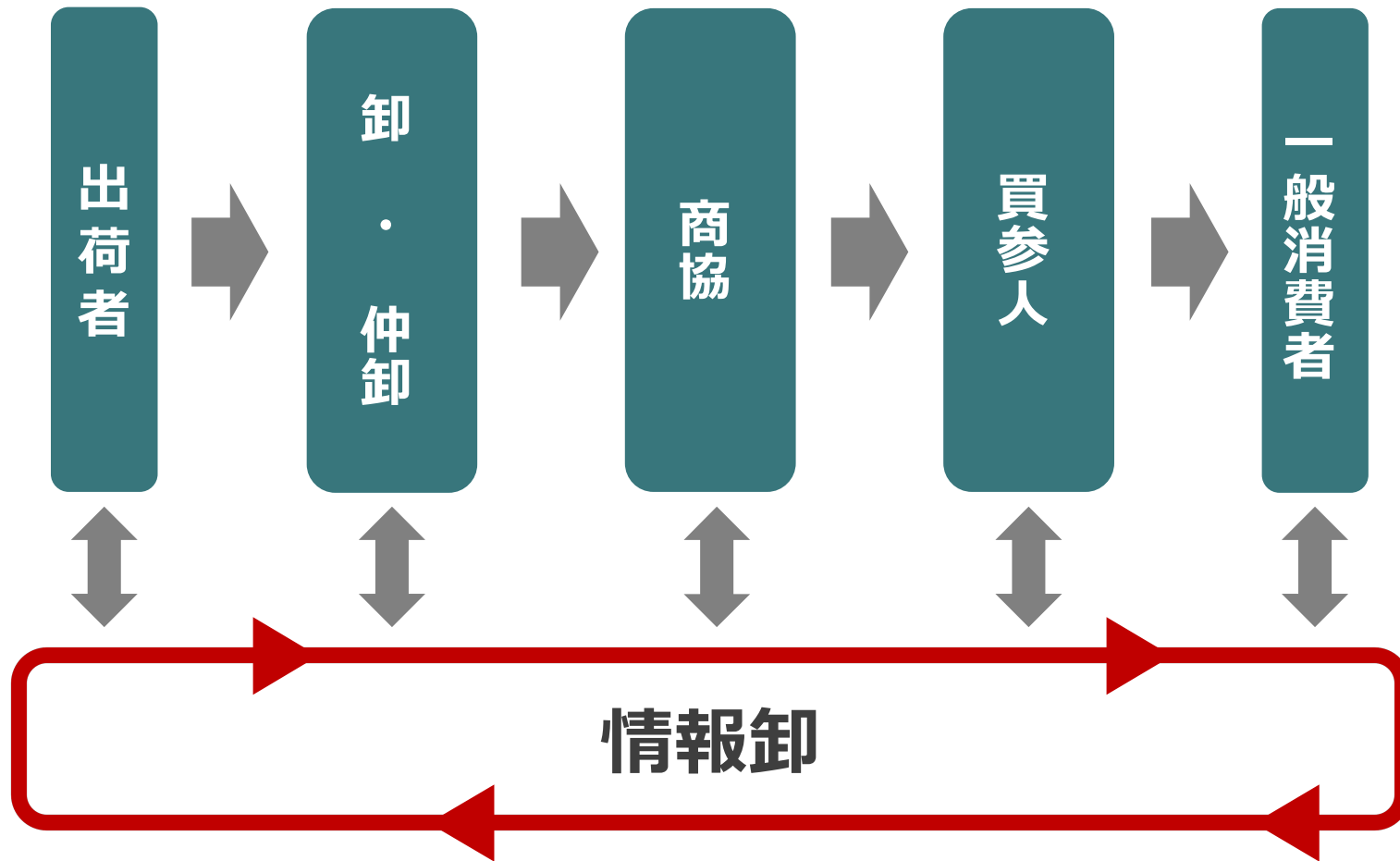


キャベツ単価(円/kg)東京

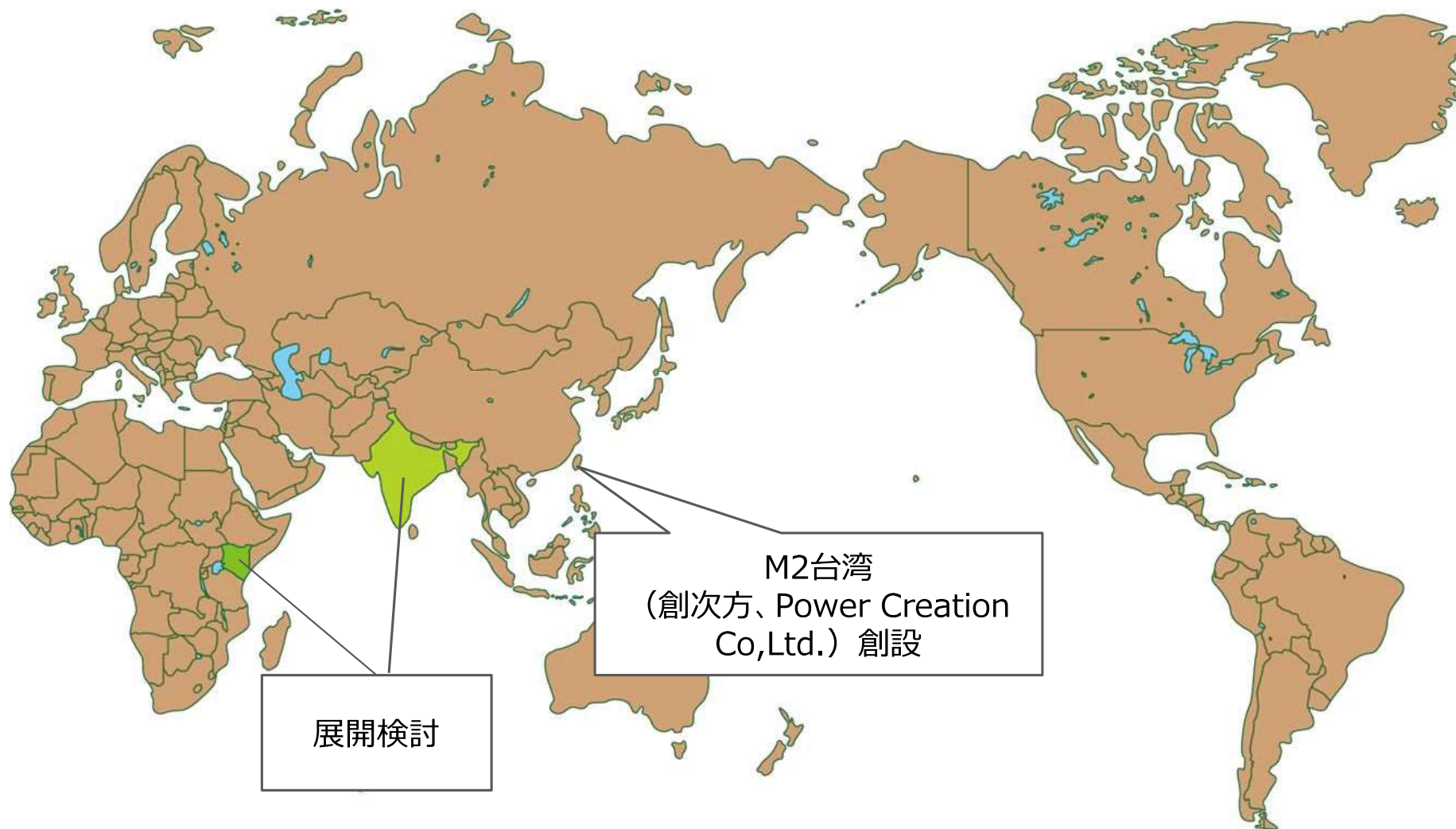


出典：ベジ探データベース (独) 農畜産業振興機構

情報卸



Vegibus Global展開地域



SmartCommunityのOSを目指す！

無理なく

かね、時間、気持ちに無理なく

楽しく

日常をわくわくしながら

おいしく

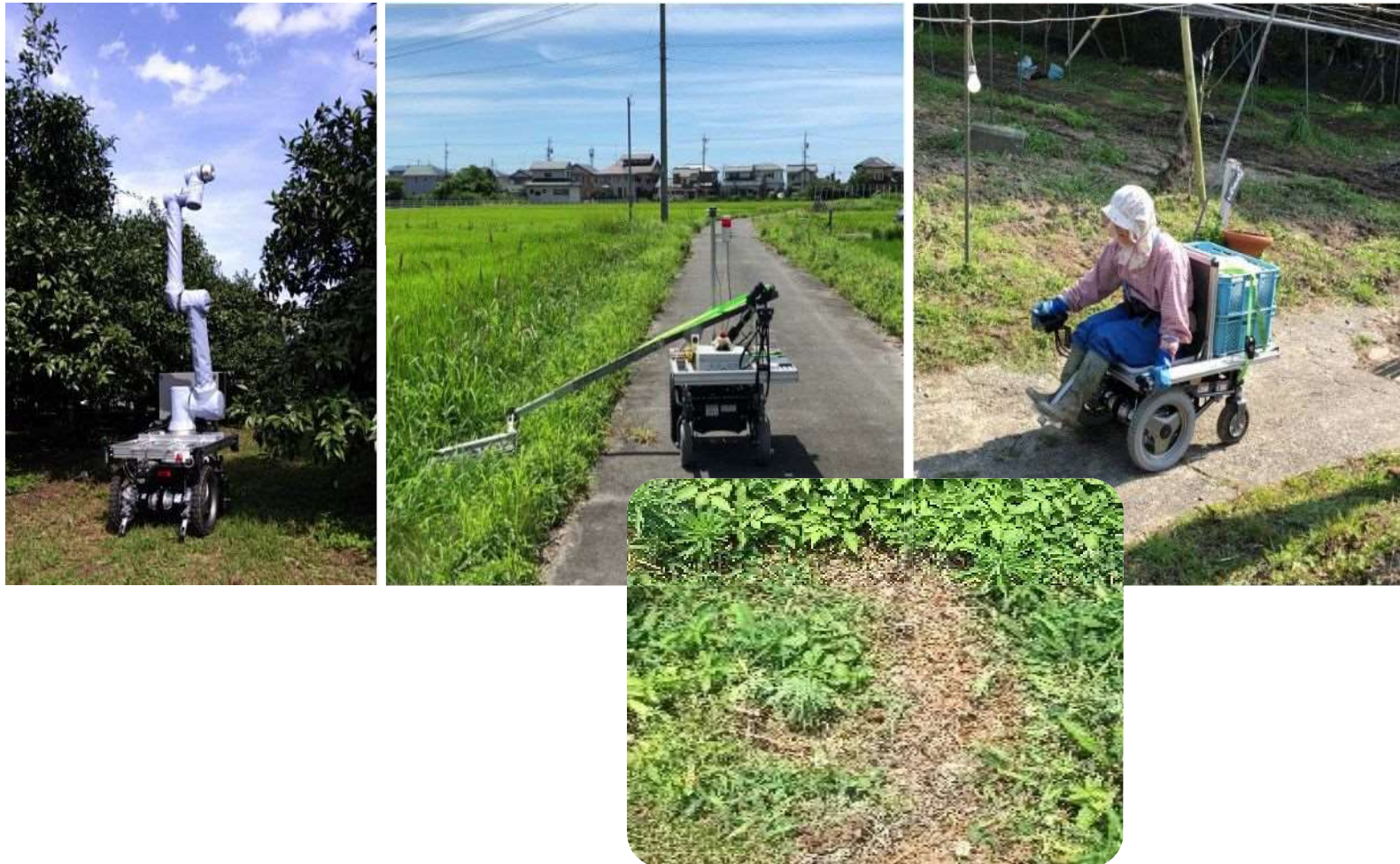
安全でおいしい食をつくり、手に入れ食す

農業は 人類にとってどうあるべきか？

安定、安全、安心
+
環境保全、おいしい、多様

モバイルムーバー |

柔軟性・低価格・自己メンテ可能



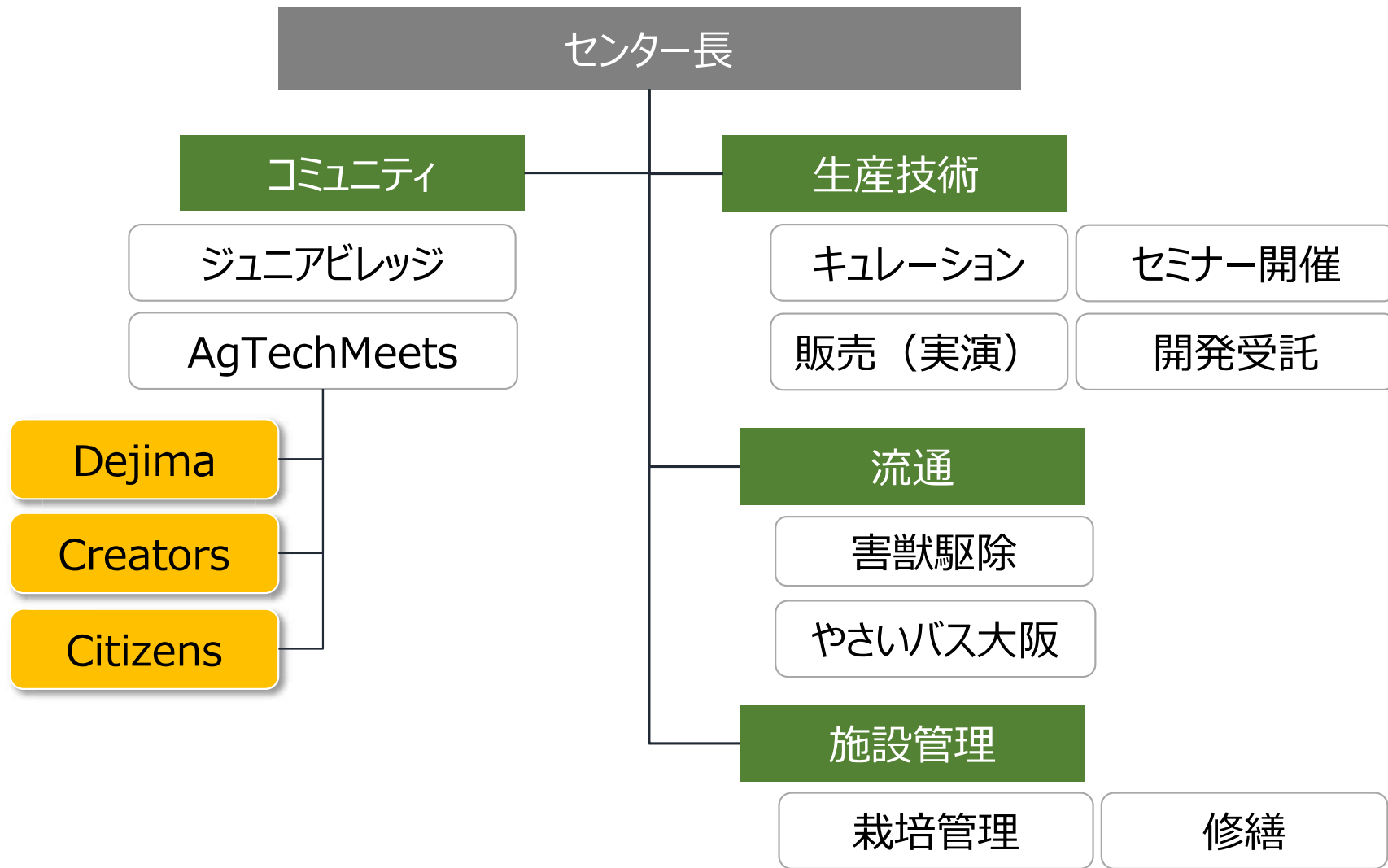
誰も取りこぼさない地域社会を目指す



ワンストップ相談所 & コミュニティ @大阪府和泉市



ワンストップ相談所 & コミュニティ



①DXは課題共有から

課題を共有できる安全な
場所が必要

- ✓ 『場』に対してサポートを！
- ー各地域や各課題を共有できる安全な場が出来るかがポイント。
- ースーパーマンは必須ではない。
- ー首長の理解と行動は必須。

課題の解決手順

具体的な課題を設定



解決の仮説を構築



仮説を実行するチームづくり



仮説を実証しながら確度を向上



目的・目標を明確にし、PDCA

②生活を中心としたデザインが大事

コミュニティベースド

✓ 政府・地域行政・大企業が先導しては上手くいかない。

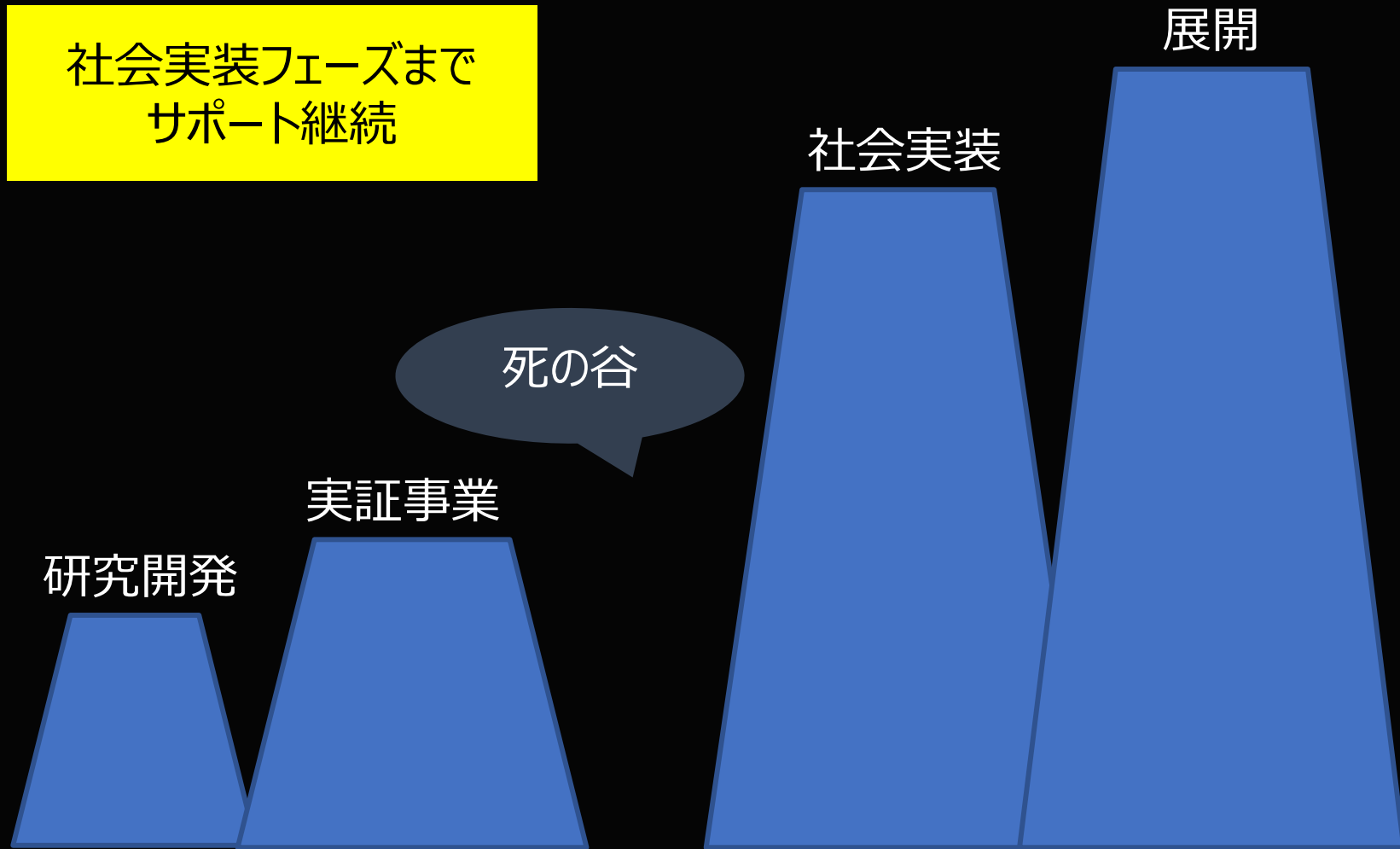
なぜか？

理由① 組織の性質上、その時の答えを用意してしまう。

理由② 技術の進化で、つくる人とつかう人の堺はあいまい。組織よりも個人やコミュニティに委任し、サポートすべき。

③ サポートは社会実装まで

社会実装フェーズまで
サポート継続



社会課題解決型事業 死の谷を越えるポイント

- 1) 資金の出どころ 政府→民間へと徐々に、越えるまで
- 2) 時間＝仕事の考え方では越えられない
- 3) 課題の芯＝共感者が多いか

一人、一社でできることは少ない
コミュニティの力